



広報 びらとり 2

No. 642
月号

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう

冬休み子どもクッキング (1 / 16)



特	平取町自治基本条例 改正にむけて	P2
集	平成 27 年 成人式 (フルカラー)	P6
まちのひろば	P4	教育委員会からのお知らせ P8
すこやかだより	P12	図書館へ行こう P13

わたしたちのまちの憲法

平取町自治基本条例

改正に向けた『答申書』が提出されました。



第7回検討委員会の様子（12月22日）

これまで7回の検討委員会を開催し、この度、議論した内容をまとめ、1月14日に姉崎検討委員長をはじめ6人の委員から川上町長に対し「自治基本条例改正に向けた答申書」が提出されました。

町では、平取町自治基本条例第38条に規定される見直し条項に基づき、昨年6月に自治会、議会、一般公募委員を含めた委員で構成する「自治基本条例検討委員会」を設置し、自治基本条例が置かれている現状や課題、条例改正の必要の有無について議論を行ってきました。

自治基本条例 改正に向けた答申

答申文（抜粋）

条例の評価では、「本条例が町政の最高規範」と位置づけられておりながら、町民および行政組織などにあまり浸透していないことなどから、条例の目的の実現に向けて、さらなる意識改革が必要となっております。

また、原則条項の「情報共有」、「町民参加」を基本とし、町民・行政・議会による協働が一層浸透・拡充されるために、条文の見直し内容もさることながら、附帯意見についても重要な検討事項として運用されることを強く望むものであります。

☞ 答申の内容（概要）

条例改正

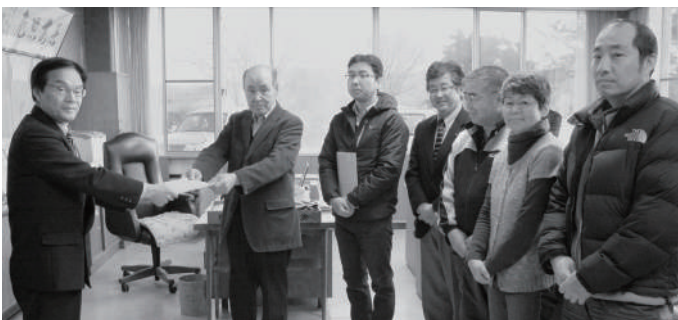
- 第10条（町民参加の権利）では、第3項で20歳未満の町政参加の権利をうたっていますが、町政運営に参加の権利は年齢を問わないとし、「それぞれの年齢にふさわしい町政運営に参加する権利がある」と改正すべき。
- 第11条（町民参加の保障）、第12条（町民参加の推進・拡充）では、条例の前文では「協働の精神を基本とする」とうたわれていますが、さらに協働を進めるために、第4条の基本原則に「協働」を加え、条文にも「協働の推進」を加えるべき。
- 第16条（総合計画）では、これまで地方自治法の中で地方公共団体の総合計画策定の義務、手続き等位置づけされていましたが、平成23年度の改正にともない各地方公共団体の自主性によるものとなったことから、条文の中で総合計画についての議会の議決を加えるべき。
- 第28条（政策会議）では、町議会において集中的に政策を議論する会議を規定していますが、町議会では平成24年度に政策会議が設置され、その会議の設置要綱に合わせて条例を改正すべき。

- 第 29 条（議会の会議）では、議員と行政側の説明員が双方向の議論ができる仕組みと会議の公開を規定していますが、現在の条文ではわかりづらいことから、わかりやすい条文に改正すべき。
- 第 30 条（議会の情報公開）では、議会が保有している情報の積極的公開と審議経過や結果などの説明責任を規定していますが、情報の公開をさらに踏み込んで行うことを条文に追加すべき。

ふたい 👉 附帯意見

附帯意見については、38 ある条文中 24 の条文で 30 項目の附帯意見が出されていますが、町民にかかわりの深い主な附帯意見については次のとおりです。

- 第 1 条（目的）および第 2 条（位置づけ・最高規範性）では、「町政の最高規範」となっているものの、現状ではその価値が町民および行政を推進する町職員にも浸透していないことから、町民に対しては「町広報での解説文の掲載」や、自治基本条例に基づいて行うものには「平取町自治基本条例に基づく」と表現する。
- 第 6 条（情報を共有する制度）では、会議を公開する制度は平取町情報公開条例で定めていますが、現在は努力義務となっていることから、条例を改正し「原則公開」にすべき。
- 第 15 条（町民投票）では、条文では重要な政策判断が必要なときに、町民投票を町民の意思確認の最終手段に位置づけ制度を設けることを規定していますが、現状のままでは町民投票を請求しても首長の判断で実施しないことも可能であることから、町民の参加を募り議論する場を設けながら、町民投票の基本的な項目を定めた条例を検討し制定すべき。
- 第 29 条（議会の会議）では、議会での議論の活性化を図るために、定例議会で行われる一般質問について質問者以外の関連質問も受けることや、執行機関（行政側）も、議会に対し積極的に情報を提供すべき。
- 第 30 条（議会の情報公開）では、議会等の傍聴者も少ないことから、執行機関（行政側）および議会は、町内各所に議会の開催や動きなどについて多様な手段を用いて町民に周知すべき。



検討委員会から町長へ答申（1月14日）

この答申書の内容については、条例改正を主とした概要となりますが、今後、3地区（本町・振内・貴氣別）、自治会等懇談会、出前講座で説明会を開催していきます。また、町では答申を受け、役場内部で条例改正に向けた検討、附帯意見についてはスピード感を持って対応を検討していきたいと考えています。

知っていますか？ 平取町自治基本条例

自治基本条例とは、地方自治体が地域の課題に対応したまちづくりを進めるにあたり、住民・議会・行政の役割や方法など、基本的なルールを条例化したもの。

平取町は、自治基本条例を最上位の条例として位置づけ、町民・議会・行政のそれぞれの役割や責務、情報共有や町民参加など、まちづくりの基本理念と原則を定め、平成 20 年 4 月に施行された。

📞 問い合わせ
まちづくり課企画係
2・2222

答申書の全文については、町のホームページに掲載していますが、ご連絡をいただければ郵送等で個別に答申書を送付します。

びらとり まちのひろば

命の授業 (12/17)

スキー中の事故で、頸椎損傷・全身麻痺という深刻な状態から奇跡の復活を果たした元体育教師・腰塚勇人さんの講演「命の授業」が、平取中学校で町内の中学生を対象に行われました。

生きる希望を失いかけた自らの経験をもとに、「命の尊さ」「生きていることの素晴らしさ」を伝えました。



NHK AINUART 祭 in 平取 (12/20)

NHK 室蘭放送局主催の「NHK AINUART (アイヌアート) 祭 in 平取」が、ふれあいセンターびらとりで開かれました。

伝統的工芸品の展示のほか、平取アイヌ文化保存会による古式舞踊の披露、俳優の宇梶剛士さんをゲストに迎えてのトークショーなどが行われました。

琴アンサンブルきみかげ草 クリスマス琴コンサート (12/21)

琴アンサンブルきみかげ草 (代表 滝沢奈々美さん) によるクリスマス琴コンサートが、ふれあいセンターびらとりで行われました。

「きよしこの夜」や「花は咲く」など 14 曲を演奏し、観客は美しい琴の音色を堪能していました。



ボランティアサークル愛 ふるまい餅 (12/23)

本町・荷菜地区に住む独り暮らしの高齢者宅を訪れ、手作りのもちを贈ってきたボランティアサークル愛 (代表 平村公子さん) が、会の解散にともなって最後の取り組みを終えました。

高齢者に良いお正月を迎えてもらおうと行ってきた活動の延長として、毎年 12 月に実施してきました。

優勝祝賀会・全国大会出場報告会 (1/5)

昨年の北海道消防操法訓練大会で優勝し、全国大会へ出場した日高西部消防組合平取消防団の「北海道大会優勝祝賀会・全国大会出場報告会」が、ふれあいセンターびらとりで行われました。祝賀会には、町内外から関係者が集まり出場隊員の健闘がたたえられ、支えてきた家族の労もねぎらわれていました。





冬休み子どもクッキング（1/16）

冬休み中の子どもたちに、料理を通じて食べることの楽しさや『食』への関心を深めてもらうことを目的とした子どもクッキングが、ふれあいセンターびらとりで行われました。初めて餅つきをする子もいるなか、慣れない手つきで力強く杵をふるい、出来上がった餅を美味しく食べていました。

ほっかいどう地球温暖化防止貢献の 森林づくりコンクール表彰

北海道や林業関連団体が主催となる「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」に、櫛田正嗣さん（貫気別）が優秀賞に選ばれました。受賞の対象となったのは、林樹31年のカラマツ林で、適切な管理と育成を続けてきたことが評価されました。



ひだか馬の絵コンテストで3人が入賞

日高振興局主催の「ひだか馬の絵コンテスト」で、応募総数199点のなかから、島野未替さん（平取小2年生）、本間なづきさん（平取小2年生）、稲原永久さん（平取小3年生）の作品が入賞しました。

入賞作品は平成27年の「馬の絵カレンダー」や日高振興局のホームページに掲載されます。

第34回全国中学生人権作文コンテストで受賞

第34回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会日高地区大会で、福澤佳乃さん（振内中1年生）、伊東菜々子さん（平取中3年生）が支局長賞を、松坂有花さん（平取中1年生）が奨励賞を受賞しました。

この作文コンテストは、次代を担う中学生が人権問題に関する作文を書くことによって、人権尊重の重要性と必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的として行われています。



福澤佳乃さん



松坂有花さん 伊東菜々子さん



成人宣言
川瀬 竜也さん 西山さつきさん



記念品贈呈
原 望美さん



お礼のことば
上田 伸也さん

平成27年 平取町成人式

平成27年平取町成人式が1月11日、中央公民館で行われました。
今年の新成人は63人（男性34人、女性29人）で、うち出席した52人がスーツや鮮やかな振り袖に身を包み、祝福を受けながら、人生の新たな一歩を踏み出しました。

みなさんの一層のご活躍を期待いたします。





新たな一歩を踏み出した新成人に決意をつづっていただきました。



教育委員会からのお知らせ

できたよ！わかったよ！振内小学校 冬休み学習サポート事業

講座 1

たし算とひき算の場面を見つけよう



身の周りの「もの」や「こと」をもとにして友達同士協力して問題を作ります



ちょっと難しい問題にもチャレンジ
1年生も集中して頑張っています

講座 3

わり算の筆算の仕方をおさらいしよう



お皿にキャラメルをのせて
わり算の仕組みを学びます



担任の先生が連携して一人ひとり
ていねいに指導します

振内小学校では冬季休業中の12月25日(木)・26日(金)の両日に「冬休み学習サポート事業」を行いました。

これは、標準学力調査等の分析によって明らかになった児童たちの算数科における学力課題に基づき、4つの講座を開設し、希望制で参加するという取り組みです。この講座を通じて、一人ひとりが「課題」を持って算数の様々な問題に取り組み、力を高めようというのがこの活動のねらいです。

夏休みに続いて、第2回目の開催となりましたが、36人の児童が自ら進んで参加しました。

各講座の指導は、振内小学校の全教員がチームティーチングあたり、一人ひとりをしていねいに指導しました。日頃の授業ではなかなかできないようなダイナミックな学習、例えば、徹底的に具体物を用いたり、テーマを与えて条件に合う問題を作らせたり、身近な事柄に即して「生活体験」を活かした課題を与えたり、各教員が個々の持ち味を発揮し、授業の中身を考えました。

どの児童も目を輝かせながら問題に取り組んでいました。他学年同士が協力しながら解く問題もあり、みんなで様々な意見を出し合い、楽しく考えていました。「算数って面白い」「よくわかった」「今度は違う問題にも挑戦したい」などの声が聞かれ、算数力の向上だけでなく、算数への意欲も高めることができたことをうれしく思います。

*振内小学校以外の多くの学校で冬休み中の学習会を実施しました。

講座 2

文書を読んで考えよう



与えられた「式」を導く問題を
文字カードを並べて作ります



できたら「自分の言葉」で
積極的に発表します

講座 4

算数の力を応用しよう



いくつかの条件のもとで「おつり」を
求める問題…みんな大苦戦です



問題によってはタブレットパソコンを
使用して正解を目指します

女性教養講座 ～白樺の樹皮でかごを作りました～

1月9日、女性教養講座に10人が参加し、平取町にも在住経験があり全国的に活動しているユーリ氏を講師に招き、白樺の樹皮を使ったかご作りを行いました。



完成写真



制作の様子

「白樺の樹皮は、7月にしか収穫できず、しかも切り倒したのからは取れないため貴重なものであり、また、北海道ではどこにでもある白樺だが本州にはあまりないものです」との説明に、参加者から驚きの声が上がりました。

かごは、長さが45cm程度で均等の太さの樹皮を12本使用し、白樺の柔らかさを感じながら、折り返して二重にのみあげ、何十年も使用できる温もりのあるかごが出来上がりました。

冬休み子ども理科教室 ～子ども公民館講座～

1月14日、小学3～6年生を対象に37人が参加し、冬休み子ども理科教室を開催しました。

町内小中学校の理科担当教員が講師となり、前半は9つの実験のなかから、参加児童がそれぞれ3つの好みの実験を選択し、スーパーボール作り、スライム作り、綿あめ作りなど、真剣に作業しながらも楽しく体験していました。



各実験の様子



実験終了後の記念写真

後半では中学年が、ミニホバークラフト作りと手製のホバークラフト乗船体験、高学年は、小麦粉を使った粉じん爆発実験や油とガラスを使った屈折率の学習をしました。

「不思議なことや、おもしろいことがたくさんあって良かった。また実験をたくさんやりたい」との感想が多くあり、理科に興味をもってくれたようでした。

文化サークル紹介

貫気別書道サークル

小学生が中心で、中高生は夏、冬休みに通っています。
“ていねいに”書くをモットーに練習に励んでいます。

活動日 毎週水曜日 15:30～17:00

活動場所 貫気別生活館

《会員募集中》 連絡先 齊藤睦子 (☎ 2-2447)

3地区公民館で活動している「文化サークル紹介」は
今回で終了します。

創立年	平成9年
代表者	齊藤 睦子
会員数	12人



教育委員会からのお知らせ

しっかり学んでレベルアップ！ ～初心者スキー教室～

1月7日、町民体育館主催の「初心者スキー教室」を日高国際スキー場で開催し、町内の小学生42人が参加しました。

この教室は、スキー・スノーボードの正しい基礎技術の習得と体力づくりを目的に毎年開催しています。初心者をはじめ、参加者のレベルに合わせた技術指導をきめ細かく行えるよう、状況を見ながら7つのグループに分かれ、ひだか高原スキー学校のインストラクターの指導のもとに行いました。



快晴のなかで教室は始まりましたが、午後からは少し吹雪いて視界が悪く、顔に雪を浴びながらも、みんな一生懸命に練習しました。スノーボード初心者では、最初、起き上がることも大変だった参加者も午後には一人でリフトに乗り、転ばずに滑られるようになるなど、それぞれ一段と上達した姿を見せていました。



自然の中で2日間の交流！ ～遊ingスキー教室～



雪中運動会のリレー

1月8日～9日の2日間、平取町・日高町両教育委員会などの主催により、日高西部広域社会教育事業「遊ingスキー教室」が国立日高青少年自然の家と日高国際スキー場で開催され、平取町と日高町の小学4～6年生の36人（平取14人、日高22人）が参加しました。

この教室は、スキー・スノーボードの技術習得と両町の小学生の交流を深めることを目的に毎年開催しています。

1日目は屋外で「雪中運動会」「スノーラフティング」、夕食後には屋内で「交流レクリエーション」、2日目には「スキー、スノーボードレッスン」が行われました。

数々のイベントや団体行動を重ねるなかでたくさんの友達ができ、参加者は実りある2日間を過ごしたようです。



スノーラフティング



「日本の危機言語・方言サミット」が八丈島で行われました

初めてのサミット開催

2009年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）が発表した世界の消滅危機言語のうち、日本では8言語・方言が将来消滅の危機にあると報告されました。

こうした世界情勢のなか、少しでも消滅の危機を回避し、または伝承・復活の道をたどるための意見交換等を目的として12月12～14日の3日間、「日本の危機言語・方言サミット」が八丈島を会場に初めて開催されました。

サミットには、ユネスコが指定した消滅危機言語・方言を持つ地域などから、語り部や研究者らが参集しました。北海道の事例発表では、平取町二風谷アイヌ語教室の萱野志朗さん、関根健司さんによって平取町の取り組みが報告されました。

実際に各地域の消滅危機言語・方言を聞いて体感し、伝承の方策や各地域が協力して取り組める活動を模索できたことは、アイヌ語の普及を考える上でも非常に有意義なことでした。8地域の方々それぞれに、自らの地域を見直すことにつながり、アイデンティティー（共同体への帰属意識）の再生につながるようなアイディアを得ることができたようです。

言語継承の取り組みと想い

存続が危ぶまれる方言が増えるなか、学校現場や地域でお国言葉を伝える活動が広がっています。

八丈島や鹿児島県南端の与論島では、小・中学校を通して方言や地域の文化を調べる学習が継続的に行われています。沖縄語の継承においては、スマートフォンでの島言葉検定も実施されているそうです。

関根健司さんの発表では「いかに普段アイヌ語を使ってもらうかがカギで、アイヌ語ラジオ体操など楽しく子どもに教えることを心がけている。言葉は難しいという印象があるが、誇りをもてる状況になってもらいたい」といったことが語られました。

課題と今後に向けて

各地の参加者からは、方言になじみがない若手教員が多いことや文法などの教材や辞書が不足している課題も指摘されていました。

そうしたなか、八丈島では、子どもの口から、ふと島言葉が出ることもあり、その言葉をきっかけに島の高齢者との交流も増えているそうです。

地域の盛り上がりがとても大切で、学校や親だけに留まらず、地域全体への意識付けが大事であることは全国共通の課題です。

平取町においても二風谷アイヌ語教室や古老の方々、関係者等と連携しながら、さらなるアイヌ語の普及に向けた取り組みを今後も継続的に進めていきます。



日本の危機言語・方言について

2009年、世界で約2,500の言語が消滅の危機にさらされているとの調査結果を、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が発表。日本では、アイヌ語が最も危険な状態にある言語と分類されたほか、八丈、奄美、国頭（くにがみ）、沖縄、宮古、八重山、与那国の各方言も独立の言語と見なされ、計8言語がリストに加えられました。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Infomation

平取町子ども 発達支援センター 『ひよこ学級』

子ども発達支援センター
とは、どんなところ？

＊児童発達支援事業
＊放課後等デイサービスの
の2つの事業を行っています。

児童発達支援事業とは？

未就学児（0歳～就学前）
のお子さんを対象としていま
す。

発達で気になるところがあ
るお子さんや保育園に入る前
に小集団での活動を経験して
いく場。また、子育て上の悩
みについて相談も受けていま
す。

放課後等デイサービスとは？

小学生から18歳までを対象
としています。
発達で気になるところがあ
るお子さんや集団生活への対
応、日常生活における基本的
な動作の習得を実施していま
す。
また、子育て上の悩みにつ
いても相談を受けています。

職員構成

＊管理者 1人
＊児童発達支援管理責任者 1人
＊保育士 2人

専門支援

＊作業療法士
＊臨床発達心理士
＊言語聴覚士
（しずない心の杜から月に1
～2回程度支援に来ていま
す）



巡回療育相談

＊室蘭児童相談所の巡回児童
相談
＊道立施設専門支援事業
（北海道立子ども医療・総合
療育センターから医師などが
年2回来ています）

センターのプログラム

＊午前（幼児）
グループ療育になります。身
体遊びや設定遊び（週の遊び
をみんなで楽しみます）
＊午後（幼児・学齢）
個別・グループ療育を行いま
す。遊びを通して療育を行
います。

発達を促すための楽しい遊び

◆首のすわりが遅く、うつぶ
せを嫌う赤ちゃん
うつぶせを嫌う赤ちゃんが
いますが、おかしいものでは
ありません。しかし、うつぶ
せは頭や体をしっかりと支え
保つ力をつけたり、手を上手
に使えるようになるためにも
うつぶせで遊びながら慣れさ
せてあげることが大切です。

①胸と骨盤あた
りを支えゆっく
りと動かすこと
が好きになるお
子さんもあります。

②お母さんの胸
の上でうつぶせ
にして肘で支え
られるようにお
手伝いしてあげ
ると、顔を上げお母さんと顔
を見合わせて喜んで声を上げ
ることもあります。

◆お座りはしっかりしている
のに、寝た姿勢から起き上が
れない、座ったままでハイハ
イしようとしてない
遊びの中で何かを乗り越え
る運動を取り入れ、手で体を
支える力をつけていくように
しましょう。

お母さんの
足を障害物
に見立てて、



ハイハイで越えさせたり、布
団の山をよじ登らせるのも効
果的です。

◆つかまり立ちや伝い歩きま
ではできるだけ、手を離し
て立とうとしない、なかなか
歩き出さない

手で支える力や重力に対し
て体を起こす、保つ力の育ち
が不十分なことが多く見られ
ます。その時は、手押し車や
箱や力タカタなどを押して歩
くことも有効です。

※手押し車

床やテーブルの
上に手をつかせ、
子どもが手で体を
支えられるように
大人が手で支えて
やります。背中がまっすぐに
なるように注意して前に進み
ます。大人の手の支える個所
を、胸↓おなか↓腰↓太もも
↓膝↓足首と、だんだん変え
ていきましょう。



【お問い合わせ先】

子ども発達支援センター
（ふれあいセンターびらとり内）
☎2・3400

電話相談

子育て上の相談を
お受けします。



①～⑤ 9時00分～17時00分
来所相談は電話で日時をご確
認ください。お気軽にごつぞ。

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E-mail risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『鼠、滝に打たれる』／赤川次郎
 『月光のスティグマ』／中山七里
 『自滅』／柴田よしき
 『パノララ』／柴崎友香
 『悲嘆の門 上・下』／宮部みゆき
 『影踏み鬼 新撰組篠原泰之進日録』
 ／葉室麟
 『営繕かるかや怪異譚』／小野不由美
 『壊れた自転車で僕はゆく』
 ／市川拓司
 『起き姫』／杉本章子
 『千春の婚礼』／平岩弓枝
 『インドクリスタル』／篠田節子
 『旅者の歌2 中途の王』／小路幸也
 『あなたは、誰かの大切な人』
 ／原田マハ



【家庭・生活・趣味】

『世界のホットドリンクレシピ』
 ／誠文堂新光社
 『ひらめき！たべもの加工 おもしろ
 実験アイデアブック』／岡本靖史
 『手軽につくれる水引アレンジ
 BOOK 2』／長浦ちえ



【社会・経済・その他】

『アイヌの世界を旅する』
 ／北原次郎太
 『北海道の動物たち』／千嶋淳
 『ラオス 山の村に図書館ができた』
 ／安井清子
 『ウユニ塩湖 世界一の「奇跡」と
 呼ばれた絶景』／TABIPPO



雑誌のバックナンバー



さしあげます！



- 期間 2月17日(火)～3月8日(日)
※休館日は除く
- 対象 中学生以上
- 冊数制限 同じ雑誌は一人につき2冊まで
何種類でもお持ち帰り下さい。

平成24年(2012年)に出版された雑誌です。
 (平成23年出版の雑誌もあります)
 今回は、利用者の皆様から寄贈していただいた本のうち、図書館で使用できなかったものも一緒に展示し、ご希望の方に差し上げます。



◇図書館からのお願い◇

お持ち帰りの際は、紙袋やエコバックなどがあると便利ですので、なるべくご持参ください。

図書ワゴン(移動図書館車)運行日程【3月】

5日(木) 【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

6日(金) 【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

2月の休館日

2・9・11・16・23日

3月の休館日

2・9・16・21・23・30日





■ボランティアサークル 愛 (12/23)

役場関係電話番号

平取町役場 (本庁)
 総務課(代表) ☎2-2221
 まちづくり課 ☎2-2222
 産業課 ☎2-2223
 税務課 ☎2-2224
 出納室 ☎2-2225
 建設水道課 ☎2-2226
 議会事務局 ☎2-2227
 アイヌ施策推進課
 ☎2-2341
 農業委員会・土地改良区
 ☎2-2695

ふれあいセンターびらとり
 ☎4-6111
 保健福祉課 ☎4-6112
 町民課 ☎4-6113
 児童館 ☎2-3026
 子ども発達支援センター
 ☎2-3400
 地域包括支援センター
 「ほほえみ」 ☎2-3700
 平取町社会福祉協議会
 ☎4-2267
 図書館 ☎4-6666

平取町教育委員会
 中央公民館 ☎2-2619
 町民体育館 ☎2-2749
 二風谷アイヌ文化博物館
 ☎2-2892
 沙流川歴史館 ☎2-4085

役場振内支所
 ☎3-3211
 役場貢気別支所
 ☎5-5204

平取町国民健康保険病院
 ☎2-2201

平取町外2町衛生施設組合
 ☎2-2024

日高西部消防組合平取支署
 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

草詠会短歌すずらん

十三夜の周りは何もなく どうぞ涙のもらい泣きする	早朝の山も空をも一体に 夕べの雨で霞か雲か	風強く雲に流されこごえつつ 振り返りなば故郷は遠し	幼子と同じ歩幅の歩き方 小さな旅にもなやむ我なり	幾年の悠久の夜を人々は 如何に思ひて月を観るらん	手と足を楽器に仕立て合唱す 八十路の顔は乙女の如し
中沢 三二子	相田 のぶ子	高橋 洋子	中原 千鶴子	石川原 多満代	熊谷 厚子

まちの人口と世帯数

人口	5,416人	(△69)
男	2,633人	(△36)
女	2,783人	(△33)
世帯数	2,587世帯	(△60)

()内は前月比 12月末現在